

国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会の主な意見

項番	体系	意見
1	全体	施策の方向19項目にはさらっとした事業から非常に重要な事業までいろいろ含まれているが見えづらい。評価を一括して行ってよいのか。
2	全体	評価しづらい指標は、工夫して数値化するなど見直してほしい。
3	1-3	施策の方向「1-3家族の介護負担を軽減するために」は、この事業の内容だけで足りているのか。
4	1-3	次期計画では、ダブルケアラー、ヤングケアラー、さらには夫婦同士が要介護になることや認知症の方々の生活の課題について、また、障害のある子を世話している高齢の保護者のような、本人たちが要介護に近い状態になったときの負担を軽減するための重層的支援体制のあたりを、視点として入れていただきたい。
5	2-1	施策の方向「2-1安心して介護サービスを利用できるように」は、ケアマネジャー、地域包括支援センターだけでなく、ヘルパーの教育や多職種の連携も関わってくるのではないのか。
6	2-3	地域包括支援センターに相談するのは敷居が高いので、他の自治体では認知症相談窓口の電話番号を設定するなど相談をしやすい工夫を行っているので、次期計画ではそういったところも少し示していただきたい。
7	2-5	施策の方向「2-5社会からの孤立を防ぐために」の事業内容では、自分から社会と距離を置いている人は引かかってこないのではないのか。
8	2-5	次期計画では、セルフネグレクトや夫婦での介護殺人に至った事件など社会的孤立が要因であるものについての対策を打ち出したほうがいいのではないのか。
9	2-5	施策の方向「2-5社会からの孤立を防ぐために」について、孤立しないための場所に出ていけない方たち、出ていくにも手段がないといった理由で閉じこもってしまっている方たちも多くいる。そこを事業所の職員が普段市内を回っている中で、例えば雨戸が開いている時間が少ないお家がある、庭先がうっそうとしているとか、そういったささいなことを発見することができる立場であって、それをどこかにつないで、連絡できる体制があるということが、認知症を支えるということでも、市内で利便性の低い地域には特に必要で、意識なくはないかと思う。
10	2-8	施策の方向「2-8個人の権利を尊重するために」は、虐待や消費者被害も関連するが外から見えづらいところがある。全国的にもいろいろな被害が多くなっているの、もう少し広げて考えてもよいのではないのか。
11	2-8	施策の方向「2-8個人の権利を尊重するために」は、現在市で行っている「高齢者等の見守り活動に関する協定」について記載してもよいのではないのか。今後、金融機関や小売店の人たちとの連携も大事になってくる。
12	基本目標3	基本目標3「少子高齢化社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める」に「少子」というワードがある。「少子」が施策と関係があるのかどうか疑問である。
13	4-1	施策の方向「4-1自己の充実に向けて」について、「自己の充実」は言葉としてあまり聞かないと思った。例えば「充実した生活」などはどうか。
14	4-1	生涯学習や健康づくり以外に、仕事に関わるところも入れる必要があると思う。
15	4-2	次期計画では、例えば人材バンク（4-2②）に登録された方による子どもたちへの学習支援や、子どもたちの社会教育に関して活躍しやすいような体制づくりに触れてほしい。

項番	体系	意見
16	基本目標4	基本目標4について、基本目標なのに重点項目がないのはおかしい。重点項目がないということは、施策を具体的に詰めていないということで、この項目に関しては非常に薄い感じがする。重点事業がないなら基本目標に載せなくていいと思う。
17	基本目標5	基本目標5「高齢者を支える人材を確保・育成する」では、介護職の方たちに注目がいつているが、来期に関しては、ケアマネジャーや地域包括支援センターの職員の数を中心に確保していくことが、とても大変な状況になるかと思う。 他市では、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが新規を受けられない状況で、自治体が調整に入るといことも起こっている。地域包括支援センターの職員やケアマネジャーが足りない、看護職が2年ぐらい不在のまま複数の地域包括支援センターが運営されているということも聞いている。とにかくマネジメントしていく、中枢を担っていく方たちをきちんと確保していくことは、重点項目になるのではないかな。
18	5-1	高齢者を支える人材の確保がかなり厳しいので、ロボットやAIがどれぐらいサポートできるのかというところを考える必要がある。
19	5-1	重点事業のケアマネジャーへの支援はとても大事で、実績値も想定していた件数より増えているところで、そうすると、今度は地域包括支援センターを支えることが大事だと思う。地域包括支援センターは、委託ではありながらも行政のランチという位置づけであるので、そもそも重点事業だという考え方もあるかもしれないが、令和4年度の相談対応件数の数値を見て、地域包括支援センターも支えないといけなのではないかと思った。
20	5-1	施策の方向「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために」の取組事業が、今後は重点事業になるべきと感じる。高齢者を支える人材確保や育成は、かなり深刻な状況だと思う。
21	5-1	人材育成というところも、ただケアマネジャーという資格を持って働きたいという気持ちだけではなく、地域で、そのケアマネジャーを助けて育てて関係性を築き上げながら、良い支え合いができるようにしていかなければいけない。
22	5-1	ケアマネジャーだけではなく、日々の支援に入る訪問介護のヘルパーの皆さんや、訪問看護、訪問診療、往診医の方々も含めて、支えられる仕組みやネットワークが非常に大事だと思うので、事業として必要なことなのではないかと思う。
23	5-1	相談件数での評価で、相談件数が増えたからいいというわけではなく、逆に悪化している状態かもしれないし、地域包括支援センターごとの抱えている悩みのボリュームも違う。国分寺市で働き続けるためにという施策なので、国分寺市独自のいいところをもう少し施策の中に取り込めるとよい。
24	5-1	仕事を続けるにはやっぱり楽しくないといけない。例えば研修以外で顔を合わせられるような場があったりとか、金銭的にフォローするとか、国分寺市は楽しい、ここで働いていてよかったと思えるような取組を、次期計画の中で何か施策に取り込むことができないか。
25	5-1	大きな社会福祉法人もあれば、小さなNPOや団体もあって、事業規模はいろいろだが、小規模の事業所を国分寺市全体でどう支えるか。そこを支えないと、そこに支えられている人の生活が行き詰まるという状況が出てくるので、そこも視野に入れながら、介護職だけではなく、介護に関わる全ての専門職の仕事の継続や、そこにつながるいろいろな人の生活を支えるためにという点も含めて、次期計画に向けて強くお伝えしたい。
26	5-2	施策の方向「5-2介護職の魅力を伝えるために」はとても大事な施策である。魅力を伝えた上で仕事をしてもらうという、その次も大事だが、まずは知ってもらうところかなと思う。

項番	体系	意見
27	5-2	施策の方向「5-2介護職の魅力を伝えるために」について、今の小学生は3世代で住んでいる家庭は少ないと思うので、高齢者と当たり前のように触れ合える時間があると、介護というものがより身近で、当たり前の環境になると、もう少し変わってくるのかなと思う。
28	5-2	施策の方向「5-2介護職の魅力を伝えるために」について、公民館や児童館の事業で、地域の元気なシニアの皆さんとのふれあいの事業があるが、イベントとしての慰問的な交流ではなく、よりボランティアに近いような形で、関心がある子どもたちが事業所に行ける、事業所と学校をつなぐ取組というのは、事業に入れていただけるとよいと思う。
29	5-2	施策の方向「5-2介護職の魅力を伝えるために」について、高齢者と子どもたちの交流の研究事業の中で、子どもたちに挨拶をし続ける地域というのは、子どもたちがそこから手助け行動に展開していきやすい、それも有意差があり効果がはっきりしている、とあるので、そういったものを事業化していくというのはありだと思う。
30	5-2	施策の方向「5-2介護職の魅力を伝えるために」について、国分寺市の社会福祉の携わる人にはこういう魅力があるという施策を考えるほうが、魅力を伝えるというよりも大事ではないかなと思う。
31	5-2	施策の方向「5-2介護職の魅力を伝えるために」について、魅力を作ることは大事である。今、魅力がないわけではなく、既にあるので、魅力を広げるとか、増やすといった表現になるのではないかな。
32	5-2	現在、訪問系在宅の様々な事業所は、訪問介護事業所や訪問看護事業所などたくさんあり、どんどんできるが、なくなってしまう。小規模の事業所は、大きくなるためのパワーがないと、依頼がなかなかなくて閉じてしまう。事業所の継続が難しくなる。介護職の魅力ということは、スタッフが安心してその事業所に勤めることができるために、事業所の経営が安定していることが重要で、介護職が安心してそこに勤めて良いケアをする、そしてスタッフが定着する、と回っていかないと思うので、事業所への支援も何かあるとよいと思う。

国分寺市介護保険運営協議会の主な意見

項番	体系	意見
1	基本目標2	介護職員等調査の30代、40代の方の回答について、その方たちがどのような職種で、どのような環境を望んでいるのかというところと、もう一方で、ヘルパー不足ということを多く聞くので、ヘルパーの方の回答を抽出して、人材確保について少し分けて分析したほうがよい。
2	基本目標2	「在宅介護実態調査」の「介護保険サービスを利用していない理由」で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が56%となっている。介護申請をして、何で利用しないのか。うまくマッチングしないのか気になった。
3	基本目標2	介護保険の中身を考えるときには、障害福祉サービスとの連続性を考えなくていいのだろうかと思った。
4	基本目標5	国分寺市は本当にケアマネジャーが不足していて、事業所が見つかって、ケアマネジャーが見つからないからサービスが受けられないということも聞く。国分寺市に住んでいても、他市でケアマネジャーをしている人もいますので、潜在資格を活かす取組を行うことを検討してもよいのではないかと。
5	基本目標5	人材確保・育成は計画の評価委員会でも、ここが一番待ったなしの課題ではないかという意見が先週出たところで、非常に大事な課題だと思う。厚生労働省の基本指針案の中の3項目もまさにこの課題だと思う。
6	基本目標5	関係団体ヒアリングでの意見に、住宅問題とか夫婦間のトラブルとか、高齢者福祉という枠組みでは対応し切れないものが増えていると書いてあり、地域包括支援センターは本当に大変だと思う。構造的に、地域包括支援センターのサポートの仕組みが必要だと思う。